

# たんぽぽ



No. 170 2020年(令和2年) 10月

発行 北部地域振興課 北部生涯学習センター

住所 〒720-1132

福山市駅家町倉光37-1

電話 (084) 976-9460

E-mail : hokubu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

LGBTに関する 10月2日(金)から10月29日(木)

【問合せ先】福山市人権・生涯学習課

TEL:084-928-1006 FAX:084-928-1229

MAIL:jinken-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

## 巡回パネル展開催中!

場所 北部市民センター 1階 市民サロン



LGBT (エル・ジー・ビー・ティー) という言葉を聞いたことがありますか? 次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的マイノリティをあらわす言葉の一つとして使われています。その他にも、恋愛感情を抱かない「A セクシャル」や性自認を男女いずれかとは認識しない「X ジェンダー」など多種多様なセクシュアリティ (性) が存在します。



Lesbian  
レズビアン

同性を好きになる女性



Gay  
ゲイ

同性を好きになる男性



Bisexual  
バイセクシャル

両方の性を好きになる人



Transgender  
トランスジェンダー

身体の性と異なる性を生きる (生きたい) 人

### いらないのではなく見えていないだけ... LGBTを知ろう

調査対象や調査方法によって数値は異なりますが、ある民間の調査によると日本では人口の8.9%、11人に1人は性的マイノリティであるという結果が出ています。これは左利きの人(8~15%)、AB型の人(10%)などとほぼ同じ割合です。

性的マイノリティであるかないかは見た目では判断できません。気づくには、性的マイノリティであると告げる「カミングアウト」が必要になりますが、「否定される」「からかわれる」「他人に言いふらされる」ことを恐れるなど、容易ではない現状があります。



レインボーフラッグは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの尊厳と LGBT の社会運動を象徴する旗です。

みんな色とりどりに違うという、多様性の象徴としての意味もあります。

まずは LGBT のことを知ることから始めましょう。基本的な知識を知ること支援の1つです。言わない(言えない)だけで、あなたの周りにも LGBT の人がいるかもしれません。「ホモ/レズ/オカマ」などの言葉を使わないようにし、交際相手について話題にする時には「彼女/彼氏」ではなく「恋人/パートナー」と使うなど、配慮した言い方をしましょう。

そして Ally (アライ) になりましょう。アライとは、LGBT を理解し支援する人のことです。自らがアライであることを表明することは、LGBT への差別や偏見をなくしていくことに繋がり、身近にいるかもしれない当事者に肯定的なイメージを伝えることとなります。そのほかにもできることがあるはず。自分にはなにができるか考えてみましょう。

6色のレインボウカラーを身につけて、性的マイノリティの理解者(アライ)であることを示しましょう!



## 講座☆イベント情報

そうぞく・ゆいごんてつづ かん  
相続・遺言手続きに関する

ぎょうせいしよしなど むりようそうだんかい  
行政書士等による無料相談会

にちじ がつ にち ど  
日時 11月21日(土) 9時15分～11時50分

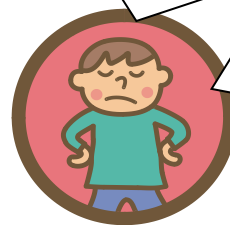
そうだん ひitori ふんかん  
相談はお一人45分間です。  
よやく ぜんじつ うけつ  
予約は前日まで受付けます。

ばしょ えきやにしこうりゅうかん  
場所 駅家西交流館

しんがた かんせんかくだいぼうし ちゅうし ばあい  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合があります。

ひみつ げんしゆ あんしん そうだん  
秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。  
申込先：駅家西交流館 (TEL084-976-0470)

ゆいごん か  
遺言を書いておきたいが、どう書けばいいかわからない。



さいきん おや なくな  
最近、親が亡くなったのだけれど、なに何をすればいいかわからない。

2019年度 協働のまちづくり推進事業報告

## まちづくり元気塾 in 北部

### 有磨学区 芦田大谷砂留整備事業

「郷土を愛し歴史や文化の学習推進事業」として、『芦田大谷砂留整備』を2017年度からはじめて3年目…今年度が最終年度となりました。最初の取組として、5月に現地研修を行い、昨年度からの課題と今年度の整備目標を確認しました。

2018年度は、7月の西日本を襲った豪雨により、芦田大谷砂留も甚大な被害を受けたため、マイナスからのスタートとなりました。2019年度は、自治会連合会や総務(人権・教育文化)部会、ボランティア“砂留守り隊”のご協力のもと、3番から5番砂留を中心に木々の伐採や片付け、砂留に繋がる側道の整備、看板の設置など…一歩一歩少しずつ、安全を十分に確認しながら作業をすすめていきました。

先人たちの豊かな経験と優れた知識・技術によって築造された『芦田大谷砂留』を守り続けるために…2020年度からも自治会連合会と生活安全・環境部会を中心に、引き続き整備作業を行っていく予定です。

↓看板



## わたぼうし

10月は、「食品ロス削減」月間です。食品ロスとは食べられるのに捨てられている食品のことです。食品ロスの原因には「直接廃棄、食べ残し、過剰除去」が挙げられます。国連では、SDGs(持続可能な開発目標)のなかで、2030年までには世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させる目標が採択されています。廃棄物が発生するのを抑制することは、暮らしを豊かにすることにもつながります。食品ロスを削減するために日常生活をもう一度見直し、できることから始めましょう。

たんぼぼ170号をそのまま読むことが困難な方のために、営利目的を除き録音・拡大・写本などを行うことを認めます。

